冬場は、こまめな換気(室温 18°C以上)と 加湿 (湿度 40%以上) を心がけよう



、飲食を伴う懇親会など/



感染リスクを下げながら 楽しみましょう

- ・同一グループであってもテーブルを分けたり、一定の間隔を置くなど、4人以下の単位に分かれるよう配席を工夫しましょう。
- 対面を避けるなど座り方を 工夫しましょう。
- ・大声は避けましょう。
- ・回し飲みや箸の共用など は感染リスクを高めます。

(2)

年始の買物



キャッシュレス決済 の利用も

- ・少人数で、計画を立て、素早 く済ませましょう。
- ・商品への接触は控えめにしま しょう。
- レジに並ぶときは、前後にスペースをとりましょう。

3

∖ふるさとの過ごし方/



オンラインを利用した里帰り も試してみませんか

- ・県外からの帰省者・旅行者を あたたかく迎えましょう。
- ・体調が悪い場合は、無理をせず帰省や旅行を控えましょう。
- ・人混みを避けましょう。

私たちが顔を触るのは、

1時間平均 23回

そのうち粘膜を触るのは、

約 44%を占めます。

(参考:厚生労働省HPより)



接触感染にも注意!

私たちは無意識に顔を触ります。 そのうち、目、鼻、口などの粘膜は、 約44%を占めます。飛沫感染のほか、 接触感染に注意が必要です。

身近な医療機関 または紹介された 医療機関受診 かかりつけ医がある人

かかりつけ医など 身近な医療機関に相談



相談先に迷う人・診療時間外

紹介された 医療機関受診 受診相談センター(24 時間対応)

☎097-506-2755

__

発熱などの症状がある場合

こ電舌でご目炎くごさい。かりつけ医などの身近な医療機関が症状で受診する際は、事前に「加速をしている。

関への受診の仕方発熱などがある場合の医療

参考:『大分県 / 大分県版「新しい生活様式」を実践しましょう』より抜粋

れ

からイン

フル

ザ

0)

流

新型コロナウイルス感染症の影響でお困りの

中小企業・小規模事業者への資金繰りを支援しています。



事業者への支援策全般の相談

県事業者向け相談窓口(コールセンター)

☎0120-936-692 (平日8時30分~17時15分) よ

県、国の事業者向け補助金など支援策全般について情 報提供(大分県中小企業・小規模事業者応援金、持続化 補助金など)

経営・金融に関する相談

県経営・金融相談窓口(平日9時~17時)

【経営】☎097-506-3223

【金融】☎097-506-3226

中小企業・小規模事業者の経営・金融全般に関する相 談対応

新型コロナウイルス感染症特別貸付

日本政策金融公庫

大分支店

【小規模事業者】 ☎097-535-0331

【中小企業者】 ☎097-532-4106

別府支店

【小規模事業者】 ☎25-1151

小規模事業者に最大 8,000 万円、中小企業者に最大 6億円を融資(3年間無利子、最長5年間元本据置)

他にも様々な支援メニューがあります。詳しくは 大分県ホームページをご確認ください。

検索 大分県 支援策

こちらから

「家庭内感染」が増えています。



大切な人を守るため、感染症対策の意識を高めよう。

まずは、家庭内に感染ウイルスを 持ち込まないように意識しよう。

- **1** 帰ったら必ず「手洗い・うがい」
- う 家でもマスクをつける
- 3 マスクはビニールに入れて捨てる
- **4** ドアノブ・スイッチを消毒
- **5** 1時間に2回、窓を開ける
- 6 食事の時は話さない
 - ※飲食店を利用する場合は、十分に感染予防対策をしている お店を選びましょう。
 - ※職場での定期的な換気や消毒など感染予防を強化しましょう。
 - ※お互いの人権を守るため、感染症に関連した不当な差別、偏見、 いじめ等をしないようにしましょう。

家族みんなで

「我が家の予防対策」 を家族で話し合おう。

家族を守るために、まずは家庭に ウイルスを持ち込まないよう基本的 な感染症対策の徹底と新しい生活様 式を実践しましょう。

また、家庭内でできる感染予防を みんなで話し合ってみましょう。